

平成29年度 施策評価シート（評価対象：H28年度）

【1. 施策名】

施策コード	441-03	基本施策	スポーツを軸としたまちづくりの推進	所管部局	文化スポーツ振興部
施策名	スポーツ環境の整備・充実			主担当課	スポーツ課
				関係部局課	商工観光部
施策の目標	スポーツ活動の拠点整備やスポーツに関する情報提供の充実などにより、身近で利用しやすいスポーツ環境を目指します。				

【2. 施策に取り組む理由】

施策目標に対する市民ニーズの傾向及び、施策目標の達成に向けた市の役割など

・余暇時間の増大や健康志向の高まりに伴い、スポーツ活動人口が増加している中、スポーツ活動の意義や価値を共有しながら、身近で気軽にスポーツを楽しめる環境づくりを推進する。

【3. 施策指標】

施策指標（成果を示すもの）	単位	基準値 (H22)	実 績					目標値 (H28)
			H24	H25	H26	H27	H28	
市民一人当たりの市有スポーツ施設利用回数	回	8.1	8.8	8.2	7.7	7.9	8.2	10.5
指標の定義	目標値のねらい（設定根拠・算定方法）							
市民一人当たりが1年間にスポーツ施設を利用する回数	スポーツ活動の拠点整備を行い、身近で利用しやすいスポーツ環境を目指す。							
施策指標（成果を示すもの）	単位	基準値 (H22)	実 績					目標値 (H28)
スポーツデータバンク登録件数	件	238	253	257	241	213	集計中	300
指標の定義	目標値のねらい（設定根拠・算定方法）							
スポーツ大会、サークル、指導者などの情報提供を行うスポーツデータバンクへの累計登録件数	スポーツに関する情報提供の充実により、身近で利用しやすいスポーツ環境を目指す。							
28年度の取組内容実績	<ul style="list-style-type: none"> ・城山テニスコートほか1施設、城山市民プールほか5施設、青垣公園市民プール、茶白山運動場ほか5施設、及び若穂多目的広場の指定管理者の選定（継続）を実施した。 ・千曲川リバーフロントスポーツガーデンの芝生グラウンドの適正管理を実施した。 ・指定管理者導入施設の管理状況の検証を継続して実施した。 ・スポーツデータバンクを活用し、各種情報提供を実施した。 ・マレットゴルフ場建設、大豆島社会体育館建設、総合レクリエーション施設の整備などを進めた。 							

【4. 総合評価】

総合評価（目標値に対して）	一部に努力を要する	集計中	%
評価の理由・説明等			
適応性 市民ニーズや社会経済状況の変化に柔軟に対応しているか	市民ニーズに対応するスポーツ施設の整備・居心地のよい空間を提供するため、スポーツ施設の計画的な改修、整備を行っている。		
達成度 施策の目標達成に向けて順調に進んでいるか	市民一人当たりの市有スポーツ施設利用回数は基準値に対して0.3回分上昇しているが、全体的には減少傾向にあり、目標達成に至らなかった。		
事業の成果等 施策を構成する事業は目標を達成しているか	<ul style="list-style-type: none"> ・城山テニスコートほか1施設、城山市民プールほか5施設、青垣公園市民プール、茶白山運動場ほか5施設、及び若穂多目的広場の指定管理者の選定（継続）を実施した。 ・千曲川リバーフロントスポーツガーデンの芝生グラウンドの適正管理を実施した。 ・指定管理者導入施設の管理状況の検証を継続して実施した。 		

【5. 今後の展開】

課題	課題解決に向けた具体的な取組
短期 指定管理者制度の導入により、経費の削減と市民サービスの向上はある程度図られたが、経費削減に対する比重が重く、施設の修繕等が迅速に行われていない面がある。	指定管理者と市が定期的打ち合わせを行うなど、連携を密にし、利用者の安全対策及び利便性の向上が十分に行われるよう努める。
中長期 体育施設の老朽化が課題となっている。オリンピックの際に建設された大規模施設は、建設時期が近いため改修が同時期に必要となる。	現状を把握するとともに、安全性や利用頻度などを考慮した優先順位をつけ、年次計画により改修、更新等の工事を実施する。
施策展開の方向性 (H29年度以降)	重点施策であるスポーツを軸としたまちづくりを推進するためには、スポーツ環境の整備・充実が施策の基本となるものである。スポーツ施設の老朽化に伴う改修は、市民の安全面からも喫緊の課題であり、オリンピック施設等の大規模施設は建設から19年以上が経過し、改修が同時に必要となってきたため、優先順位をつけ、年次計画により順次、改修、更新等の工事を実施していく。また、指定管理者と定期的に意見交換を行うなど、連携を密にし、安全対策やサービスの充実を図るなど、利用者満足度の向上に努める。そのほか、スポーツ情報の発信については、正確な情報提供に努めていく。

【6. 施策を構成する主な事務事業】

番号	事務事業名 [事業区分] 担当課名	事務事業の状況									
1	総合レクリエーションセンター改修 [建設・改修整備事業] 文化スポーツ振興部スポーツ課	事務事業の概要					事業の取組実績・成果				
		広域ごみ焼却施設の建設に伴い解体した総合レクリエーションセンター（サンマリーンながの）に代わる施設を建設するもの。					<ul style="list-style-type: none"> ・プール施設：工事監理業務、建築主体工事、電気設備工事、空気調和設備工事、給排水衛生設備工事 ・屋内運動場：工事監理業務、設計意図伝達、建築主体工事、電気設備工事、機械設備工事 				
		事業の分析結果					年度別事業費（千円） (H29は予算額)				
		達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H26	H27	H28	H29
	B	/	/	/	継続	301,686	54,146	1,746,130	4,222,179		
2	長野運動公園総合運動場改修 [建設・改修整備事業] 文化スポーツ振興部スポーツ課	事務事業の概要					事業の取組実績・成果				
		施設の計画的な改修、オープン前整備などを実施し、市民がスポーツを楽しむことができる環境を整備する。					<ul style="list-style-type: none"> ・陸上競技場：耐震補強工事 ・アクアウイング：音響改修工事 ・総合体育館：会議室エアコン設置工事 				
		事業の分析結果					年度別事業費（千円） (H29は予算額)				
		達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H26	H27	H28	H29
	B	/	/	/	継続	17,666	102,277	20,228	110,603		
3	千曲川リバーフロントスポーツガーデン管理運営 [施設管理運営事業] 文化スポーツ振興部スポーツ課	事務事業の概要					事業の取組実績・成果				
		スポーツ環境の充実のため、特に天然芝の運動場で行なわれる球技施設が必要であることから設置され、管理・運営を行っている。平成28・29事業で芝生グラウンドの増設工事施工中					利用件数 857件→908件 利用実績は前年を上回った。芝養生のため、利用制限を行いながらの運営であるが、可能な限り利用枠の確保を行った。				
		事業の分析結果					年度別事業費（千円） (H29は予算額)				
		達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H26	H27	H28	H29
	A	A	A	A	拡充	70,204	64,661	64,558	87,646		
4	ボブスレー・リュージュパーク管理運営 [施設管理運営事業] 文化スポーツ振興部スポーツ課	事務事業の概要					事業の取組実績・成果				
		利用者に安全で快適な使用環境を提供する。総延長1,700m 標高差113m カーブ15 プッシュトラック延長120m					選手入場者数 3,277人→3,143人 平成28年度は選手数が減少となったが、滑走本数は目標値の4,300を超え4,600本となっている。				
		事業の分析結果					年度別事業費（千円） (H29は予算額)				
		達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H26	H27	H28	H29
	B	B	B	B	縮小	195,533	185,549	170,594	189,505		

